

第 70 回

全日本産業別柔道大会



期日	2022年11月23日(水・祝)	場所	講道館
主催	全日本実業柔道連盟	主管	東日本実業柔道連盟
後援	(公財)全日本柔道連盟・(公財)講道館		

ALSOKは、

**これからもスポーツの振興に
貢献してまいります。**

*ALways
Security
OK*

ALSOK

柔道男子 90kg 級
向 翔一郎

柔道女子 78kg 級
梅木 真美





ごあいさつ

全日本実業柔道連盟

会 長 宗 岡 正 二

本日、ここ講道館において「第70回全日本産業別柔道大会」が3年ぶりに開催されますことを誠に喜ばしく思います。

本大会は、昭和28年以来、企業の枠を超えて業種別にチームを編成し、覇権を競う一方で、企業間の交流や親睦を深める場として開催されてきた大変意義深い大会であります。今年は、階級別の団体戦として新たな試合方式で行われますが、7部門からのご参加をいただきました。これも会員企業の皆様方の実業柔道に対するご理解とご支援の賜物であると存じます。厚く御礼申し上げます。

さて、先月、ウズベキスタンの首都タシケントにて開催されました世界柔道選手権大会では、日本選手団は個人戦で金5個、銀4個、銅3個、さらに団体戦での金メダルを含め、計13個のメダルを獲得しました。とりわけ当連盟所属選手は、個人戦で金4個を含む計10個のメダルを獲得し、団体戦での金メダル獲得にも多大なる貢献をされました。2024年のパリオリンピックに向け、国内外の熾烈な戦いが始まっておりますが、選手の皆さんには悔いの無いよう力の限り戦って頂きたいと思います。

ところで、選手の皆さんは、柔道の創始者である嘉納治五郎師範が終生取り組まれた、礼節を重んじる「柔道を通じた人づくり」を体現し、たくましく、かつ品性と知性をも兼ね備えた立派な社会人であるべきです。所属企業のご支援に改めて感謝するとともに、本大会においても堂々たる試合を展開し、勝って驕らず、負けて腐らず、最後まで一本を取る柔道を目指して頂きたいと思います。

最後に、本大会の開催運営に多大なるご尽力を賜りました大会役員をはじめとする関係者の皆様方に深い感謝の意を表しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

新型コロナウイルスの対応策について

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、無観客にて開催し、①会場に入場する選手、指導者等すべての入場者が健康記録表を提出すること、②大会前にチームや自宅や寮等で生活を共にする者にCOVID-19感染者または濃厚接触者が発生した場合は、選手は各自が選んだ医療機関または検査機関(郵送検査含む)でPCR検査を実施し、受付時に陰性証明書または、「陰性」の検査結果を提出すること。③②に該当しない場合は、チームに感染のない事を証明するため、「健康記録表兼同意書」内、「所属の証明欄」に11月15日以降の日付でチーム責任者(監督等)の署名捺印を義務付ける。これらの結果に基づき参加可否を判断致します。詳細は「第70回全日本産業別柔道大会における新型コロナウイルス感染症対策等に関する基本方針」をご覧ください。

また、当連盟主催大会は(公財)全日本柔道連盟HPに掲載しております「新型コロナウイルス感染症への対応について」および「柔道練習・試合再開の指針(Version6 20220511)<https://www.judo.or.jp/news/503/>」に準拠し、全柔連医科学委員会監修の下、大会運営を行います。大会に参加する皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

尚、今後全柔連から発信された指針等の更新があった場合、大会要項を変更する可能性があります。大会開催に向けて準備を進めておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止になる場合もありますので予めご了承ください。

第 70 回 全 日 本 産 業 別 柔 道 大 会 実 施 要 項

1. 日 時 2022年11月23日(水・祝)午前9時 集合 10時試合開始(開会式は行わない)
2. 場 所 講 道 館 〒112-0003東京都文京区春日1-16-30 電話03-3818-4893
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 東日本実業柔道連盟
5. 後 援 (公財)全日本柔道連盟、(公財)講道館
6. 参 加 資 格 (1) 全日本柔道連盟に登録した者であること。
(2) 日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員企業に在籍し、全日本実業柔道連盟に選手登録している者。※年会費未納の場合は参加できない。
7. 試 合 要 項 (1) 出場部門は産業別に編成する。
(2) 部門編成は役員(監督、助監督、コーチ、主務、トレーナー)8名、登録選手は3階級で18名以内とし、73kg以下、90kg以下、無差別級で各階級6名以内 計18名以内とする。
但し、2社以上の会社単位より登録し選手編成は1事業所当たり10名を超えることはできない。
(3) 試合方法
試合は出場部門をAブロック・Bブロックに分けてリーグ戦を行い、各ブロックの1位による決勝戦と2位による3位決定戦を行う。
イ. 試合時の選手編成は12人制とし、選手配列は、先鋒から軽い階級順73kg以下4名、90kg以下4名、無差別級4名とする。
その各カテゴリー内での選手選出は試合ごとに自由とする。
また、本大会において上記に登録した階級より重い階級で試合に出場することが出来る。
(73kg登録)・・・90kg・無差別級に出場可、(90kg登録)・・・無差別級に出場可。
但し、一度登録外の階級出場した場合、再び登録階級に戻ることはできない。
第1試合のオーダーは試合開始30分前までに大会本部に提出する。
第2試合以降は前の試合が終了後、5分以内に提出すること。未提出により5分経過した後は、自動的に前回戦のオーダーのとおりとなる。
ロ. チーム間の勝敗は次により決定する。

- ①勝者数の多いチームを勝ちとする。
- ②①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者の多いチームを勝ちとする。
- ③勝数・内容が同一の場合は、リーグ戦においては「引き分け」とし、決勝戦および3位決定戦では任意選出1名による代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。なお、リーグ戦終了後の順位決定において内容が同一の場合には、任意で選出した1名による代表戦を行う。代表戦が「引き分け」の場合には、ゴールデンスコア(延長戦)を行い、勝敗を決する。
8. 計 量 大会当日午前8時30分から午前9時15分の間、73kg以下および90kg以下の計量を実施する(+2kgまで認める)。なお、無差別級の計量は行わない。
 ※計量は、部門ごとに計量者全員がまとまって受付終了後に行う(未受付・個別の計量は受け付けない)。
 ※受付場所：講道館新館2階 第4会議室(教室の隣)
 ※計量場所：講道館新館2階 教室
9. 審 判 規 定 (1)最新の国際柔道連盟試合審判規定による。
 (2)試合時間4分。
 (3)優劣勝ちの判定基準は「技あり」又は「僅差」以上とする。
 ※【一本勝＝反則勝＞技あり＞僅差】の順とする。
 (4)代表戦については、個人戦に準じて行う(「僅差」決着なし)
10. 申 込 方 法 (1)申込期日 10月14日(金)厳守とする。
 (2)申 込 書 別紙申込書を使用し、生年月日と全柔連登録番号は明確に記入すること。
 (3)申 込 先 〒107-8511東京都港区元赤坂1-6-6 総合警備保障(株)内 東日本実業柔道連盟
 TEL：03-3402-7528 FAX：03-3402-7538 E-mail：higashijudo-j@alsok.co.jp
 (4)変 更 11月14日(月)～17日(木)17:00まで東実柔連事務局宛電子メールにて受け付ける。大会申し込み後にメールにて案内をする。※大会前日の選手変更は無し。
11. 抽 選 会 10月21日(金)午後5時より、総合警備保障(株)内会議室にて大会役員立会いの上、組合せ抽選会を厳正に行う。
12. 審 判 員 全日本実業柔道連盟により委嘱する。
13. 表 彰 優勝(賞状・優勝旗・優勝杯・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、3位(賞状・賞品)を表彰する。優秀選手賞は7名(優勝部門3名・準優勝部門2名・3位部門2名)を表彰する。
14. 参 加 料 参加料は1部門当たり150,000円とする。
 振込先 全日本産業別柔道大会事務局 三井住友銀行 本店営業部 普通9028311
15. 代表者会議 集合形式の会議は開催せず、事前に参加チームへ案内をする。
16. 傷 害 保 険 本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺症障害、入院に適用)に加入する。但し、試合中の傷害に対する補償のみとする。その他の保険は各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
17. 出 場 部 門 出場部門は以下の8チームを予定している。
 繊維部門、警備部門、官公庁部門、建設・電機・機械部門、鉄鋼部門、運輸部門、JR部門、食品・印刷・サービス部門。
18. 特 記 事 項 (1)本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」及び「脳振盪対応について」は、2012年4月1日付け全日本柔道連盟通達を適用する。
 (2)大会で撮影された写真および映像の肖像権は、主催者側に帰属する。
 (3)柔道衣は2015年からの全日本柔道連盟認定の柔道衣(赤文字・赤粋)とする。
 (4)各部門チームの監督は公認指導者資格B以上を有すること。
19. そ の 他 【皮膚真菌症(トングランス感染症)について】
 発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、若しくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、適格な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

以上

第70回 全日本産業別柔道大会役員

(順不同)

会 長	宗 岡 正 二		
副 会 長	村 井 温	小 堀 秀 毅	森 詳 介
名 誉 顧 問	浅 野 敏 雄		
常 任 顧 問	内 海 章 雄 酒 井 美 行 橋 田 紘 一 本 多 孝 一	内 海 健 雄 十 河 英 史 羽 生 弘 松 本 秀 作	唐 池 恒 二 戸 高 善 之 本 川 一 善 米 澤 隆 弘
顧 問	山 本 裕 洋	渡 辺 軍 三	
参 与	石 井 俊 博 栗 林 誠 良 高 橋 茂 橋 本 上	伊 志 嶺 朝 雄 小 林 章 高 原 博 水 谷 久 夫	大 橋 武 彦 小 林 次 雄 根 本 光 男 南 喜 陽
大 会 顧 問	中 田 正 裕 平 良 敦 志	西 川 光 一	上 田 洋 輔
大 会 参 与	浅 沼 理 任 伊 吹 隆 直	本 莊 太 郎 北 村 望	柴 田 卓

大会委員長

橋爪宗一郎

大会副委員長

諏訪剛

瀬戸口正征

大会委員

岡栗池柏中松山渡阿大河川行芥多中日前柳山乾河芥辻永久布三藪横
泉原田倉村岡岸邊部槻合野德藤嶋和浦澤本原藤井富施浦田田
孝紀伸淳義裕敏雄宏靖祐秀智三慎保幹義正恒拓亮勝玄翔幸輝
茂至之司子之二二幸二和史二二明郎司幸久夫昭太一也平之秀平士隆

田大岡木中丸山相壹小川河小齋樽中平牧藪吉上小佐德中福榊御山吉
中山本山村谷本園岐川北村島喜一俊哲伸博敏宏智雅友唯真友宣大和利
裕昭和真武靖知周喜一
二三有彦一久剛彦則明平久朗郎子一史文明行惠厚等志吾子克作博也

丸淺貝薪中三山秋及賀川喜兒高樋野古松山吉金甲高永中藤松望横
田賀山谷村好協元川持下多島宮川々宮阪田藺丸能松井村本本月井
廣健仁佳知利幸道裕康廣哲洋利勇明雄航兼榮修義健
行一美翠央郎悟幸雄明一之政廣純也二譽彦太人武太生三三勝二

君たちが未来だ。



旭化成に柔道部があることをご存知でしょうか。
いくつもの国際大会で優勝者を輩出しています。
そんな実力を持つ部員たちが、
ドイツでも柔道教室を開いています。
集まってくれるのは、主に小中学生の子どもたち。
初めてのことに戸惑う。
悔しい思いをする。
そしてある時、夢中になっている自分に気づく。
そんな姿を、何度も見てきました。
未来はいつだって、子どもたちの中にあります。
私たちはこれからも、
子どもたちの可能性をひらく活動を
つづけてゆこうと思います。

昨日まで世界になかったものを。

AsahiKASEI

競 技 役 員

(順不同)

審 判 長 諏 訪 剛

審 判 委 員 金 丸 明 人

審 判 員	岩 村 衡	及 川 幸 雄	尾 山 眞 司
	本 田 綾 香	秋 元 紀 力	千 品 洋 一
	田 中 寛 仁	小 川 豊 清	伊 志 嶺 朝 広
	瀬 尾 麻 世	増 田 仁 子	稲 川 郁 子

新型コロナウイルス感染対策委員 柵 山 尚 紀 柏 倉 伸 司 山 岸 裕 二

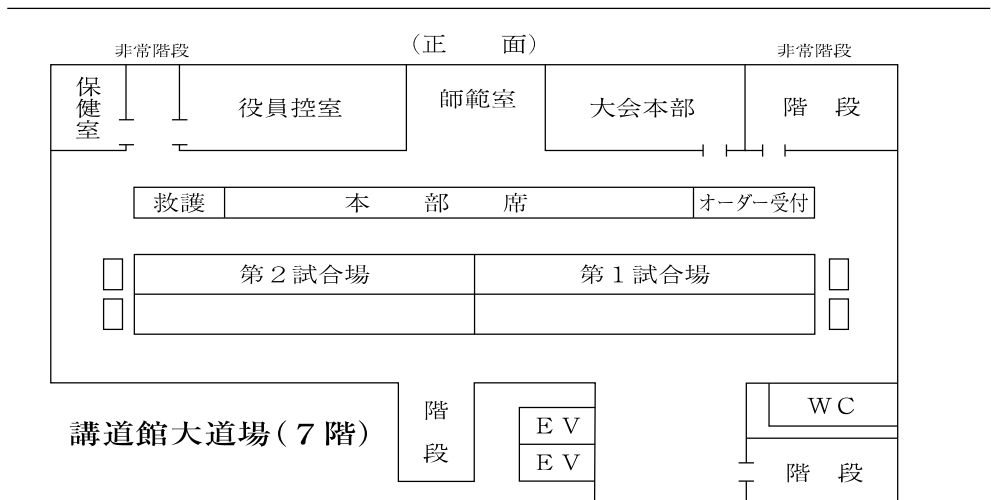
優秀選手選考委員 柏 倉 伸 司 中 村 佳 央

総 務 係	岡 泉 茂	丸 田 廣 行	荒 木 清 之
	牧 瀬 敏 文	中 嶋 和 三 郎	中 山 裕 司
	川 下 裕 一	山 岸 裕 二	薪 谷 翠
	河 合 宏 和	春 山 敏 美	大 矢 眞 弓
	松 本 潮 霞	天 野 健 太 郎	瀬 戸 拓 郎
	近 藤 洋 之	石 井 啓 允	

試合場責任者 中 矢 力 山 口 貴 也 田 知 本 愛
嶺 井 美 穂

救 護 係 深 沢 規 夫 山 根 孝 之 山 成 康 誠

補 助 係 員 佐 藤 陽 介 高輪中学高等学校柔道部



SENKO

Moving Global

物流を超える 世界を動かす ビジネスを変える

未来潮流を創る企業グループ

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、
物流・商流事業を核に、未来を動かす
サービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、
真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。



センコー株式会社

■事業内容 総合物流業（貨物自動車運送事業、倉庫業、海上運送事業、
国際運送取扱業、鉄道利用運送事業、小運搬構内作業 など）

■会社情報 〒531-6115 大阪府北区大淀中1-1-30
梅田スカイビルタワーウエスト15F
TEL.06-6440-5164
<http://www.senko.co.jp/>



センコー株式会社
ホームページ



センコー柔道部
ホームページ

Aブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：_____

第2位：_____

No.		1	2	3	勝 負	順 位
チーム名		食品・印刷 ・サービス	建設・電機 ・機械	運 輸	勝-負-分	
No.						
1	食品・印刷 ・サービス		①-2	①-3		
2	建設・電機 ・機械	①-2		①-4		
3	運 輸	①-3	①-4			

試合番号：試合場-試合順

試合 順序	第1試合場			第2試合場		
1						
2	食品・印刷・サービス部門	VS	建設・電機・機械部門			
3	食品・印刷・サービス部門	VS	運 輸 部 門			
4	建設・電機・機械部門	VS	運 輸 部 門			
5						
6	決 勝 戦			3位決定戦		

《Aブロック》

食品・印刷・サービス					建設・電機・機械				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監 督			藤 猪 省 太	日本エースサポート	監 督			石 川 正 樹	東 芝
助 監 督			海 老 沼 聖	パ ー ク 2 4	助 監 督			大 軒 英 幸	アドヴィックス
助 監 督			吉 蘭 勇 太	ダ イ コ ロ	〃			上 原 貴 志	トヨタ自動車
					〃			柿 山 竜 太	三菱重工名古屋
					〃			柴 田 道 秀	豊田自動織機
					〃			野 口 修	建 装 工 業
					〃			林 直 士	九 電 工
選 手	73	4	前 山 昌 平	ダ イ コ ロ	選 手	73	3	渡 邊 猛	建 装 工 業
	73	2	手 柴 宗 一 郎	〃		73	3	平 山 慧 周	東 芝
	73	3	武 岡 毅	パ ー ク 2 4		73	2	柿 市 寛 太	豊田自動織機
	73	5	佐 藤 雄 哉	日本エースサポート		73	2	橋 本 弥 勇 汰	トヨタ自動車
	73	2	野 上 廉 太 郎	〃		73	2	柿 山 龍 之 介	三菱重工名古屋
	73	2	大 島 拓 海	〃		73	3	下 山 和 哉	九 電 工
	90	3	一 ノ 瀬 大 暉	ダ イ コ ロ		90	初	山 室 航	トヨタ自動車
	90	3	島 田 隆 志 郎	パ ー ク 2 4		90	3	東 海 準 也	建 装 工 業
	90	3	塚 本 綾	〃		90	5	田 坂 翔 太	東 芝
	90	3	青 柳 大 虎	〃		90	3	三 村 暁 之	アドヴィックス
	90	4	三 井 大 輝	日本エースサポート		90	3	田 中 太 基	〃
	90	3	安 達 健 太	〃		90	2	田 口 大 飛	三菱重工名古屋
	無差別	2	小 田 春 樹	ダ イ コ ロ		無差別	2	増 田 良 性	豊田自動織機
	無差別	3	石 山 潤 平	パ ー ク 2 4		無差別	4	石 橋 佑 哉	九 電 工
	無差別	3	松 村 颯 祐	〃		無差別	4	須 永 江 貴	東 芝
	無差別	2	小 原 弘 暉	日本エースサポート		無差別	3	古 川 裕 熙	アドヴィックス
	無差別	3	上 野 翔 平	〃		無差別	3	磯 村 亮 太	〃
	無差別	2	中 島 大 貴	〃		無差別	3	石 川 智 啓	〃

運 輸				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督 助監督 コーチ 主務 トレーナー			山 脇 悟	日 本 通 運
			出 水 祐 介	三菱ケミカル物流
			古 田 昌 直	セ ン コ ー
			大 熊 将 史	日 本 通 運
			錫 田 大 志	セ ン コ ー
選 手				
	73	3	長 谷 川 雷	日 本 通 運
	73	3	高 野 敦 弥	〃
	73	3	岩 崎 彪	〃
	73	2	池 福 祐 基	三菱ケミカル物流
	73	3	仲 島 聖 悟	セ ン コ ー
	73	4	三 谷 大	〃
	90	3	玉 置 玉	日 本 通 運
	90	3	影 浦 力	〃
	90	3	斉 藤 群	三菱ケミカル物流
	90	3	溝 口 琢 海	セ ン コ ー
	90	3	藤 岡 将 吾	〃
	90	3	田 中 英 二 朗	〃
	無差別	3	戸 崎 碧 海	日 本 通 運
	無差別	2	川 井 康 平	〃
	無差別	3	加 藤 貴 也	〃
	無差別	3	澤 石 和 孝	三菱ケミカル物流
	無差別	3	河 田 闘 志	セ ン コ ー
	無差別	3	石 川 竜 多	〃



Mobility Link

タイムズは、駐車場を含めたすべてのサービス拠点を、
快適なモビリティライフを送るために必要不可欠な場所に変え、
人々にとって魅力的な、モビリティ・リンクを形成していきます。



We make life better

当たり前になる快適さを、次々と。



(国内) パーク24株式会社 タイムズ24株式会社 タイムズモビリティ株式会社 タイムズサービス株式会社
タイムズコミュニケーション株式会社 パーク24ビジネスサポート株式会社 タイムズサポート株式会社
タイムズイノベーションキャピタル合同会社

(海外) 台湾普客二四股份有限公司 SECURE PARKING PTY LTD. SECURE PARKING SINGAPORE PTE. LTD.
SECURE PARKING CORPORATION SDN. BHD. NATIONAL CAR PARKS LIMITED

Bブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：_____

第2位：_____

No.		1	2	3	4	勝 負	順 位
チーム名		鉄 鋼	官 公 庁	警 備	織 維	勝-負-分	
No.							
1	鉄 鋼		① - 1	② - 2	② - 4		
2	官 公 庁	① - 1		② - 5	② - 3		
3	警 備	② - 2	② - 5		② - 1		
4	織 維	② - 4	② - 3	② - 1			

試合番号：試合場－試合順

試合 順序	第1試合場			第2試合場		
1	鉄 鋼 部 門	VS	官 公 庁 部 門	警 備 部 門	VS	織 維 部 門
2				鉄 鋼 部 門	VS	警 備 部 門
3				官 公 庁 部 門	VS	織 維 部 門
4				鉄 鋼 部 門	VS	織 維 部 門
5				官 公 庁 部 門	VS	警 備 部 門
6	決 勝 戦			3位決定戦		

《Bブロック》

鉄 鋼					官 公 庁				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監 督			武 田 茂 之	日本製鉄・広畑	監 督			大 金 良 二	東京拘置所
助 監 督			守 屋 幸 裕	日本製鉄・室蘭	助 監 督			井 上 大 介	千葉刑務所
〃			堀 江 幸 男	日本製鉄・君津	コ ー チ			須 藤 英 雄	東京拘置所
〃			岩 本 英 樹	日本製鉄・本社	主 務			宮 澤 大 希	〃
〃			竹 本 五 成	日本製鉄・大分					
〃			出 口 嘉 之	戸 高 鉦 業 社					
〃			川 北 周 平	JFEスチール					
コ ー チ			西 山 大 希	日本製鉄・本社					
選 手	73	3	奥 田 将 基	日本製鉄・広畑	選 手	73	3	高 野 大 地	府中刑務所
	73	初	上 原 翔 希	日本製鉄・大分		73	2	水 野 隆 介	東京拘置所
	73	2	菊 池 一 真	JFEスチール		73	3	長 谷 川 黎	〃
	73	2	佐 藤 周 也	戸 高 鉦 業 社		73	3	赤 川 広 大	立川拘置所
	90	初	松 岡 拓 哉	日本製鉄・君津		73	3	宮 坂 友 希	千葉刑務所
	90	2	大 橋 賢 人	日本製鉄・広畑		73	2	島 村 天 紳	東京消防庁
	90	3	西 山 瑠 星	日本製鉄・広畑		90	3	關 本 侑 将	府中刑務所
	90	2	谷 川 丈 太	日本製鉄・本社		90	3	根 本 和 祈	水戸刑務所
	90	2	布 施 智 章	〃		90	3	伊 藤 拓 海	千葉刑務所
	90	3	吉 野 弘 人	戸 高 鉦 業 社		90	3	伴 直 哉	川越少年刑務所
無差別	2		岩 谷 優 太	日本製鉄・室蘭		90	2	伊 藤 翼	東京拘置所
無差別	2		原 祐 介	〃		90	3	坂 牛 つ ば さ	〃
無差別	2		菅 紅 葉	日本製鉄・君津	無差別	3		大 森 保 志	府中刑務所
無差別	3		木 元 拓 人	日本製鉄・本社	無差別	3		増 子 正 人	水戸刑務所
無差別	2		佐 藤 翔 太	日本製鉄・大分	無差別	3		奥 谷 政 城	〃
無差別	2		村 田 大 起	戸 高 鉦 業 社	無差別	3		尾 崎 央 達	立川拘置所
					無差別	2		福 澤 樹	千葉刑務所
					無差別	2		土 屋 和 雄	川越少年刑務所

警 備					織 維				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監 督			小 橋 秀 規	A L S O K	監 督			吉 田 優 也	旭 化 成
助 監 督			新 納 啓 介	セントラル警備保障	助 監 督			海 老 泰 博	〃
コ ー チ			久 保 寺 佑 次 郎	〃	〃			西 澤 昌 樹	東 レ
〃			下 山 学	ALSOK常駐警備	〃			天 本 豊	三菱ケミカル
〃			山 城 享 仁	〃	〃			石 井 孝 敏	帝 人
〃			八 山 清 継	ALSOK群馬	主 務			高 木 み な み	東 レ
〃			八 山 泰 光	〃	〃			土 居 祐 己	帝 人
トレーナー			山 平 光 利	A L S O K					
選 手	73	5	相 田 勇 司	A L S O K	選 手	73	2	永 井 陽 平	三菱ケミカル
	73	3	佐 藤 基 光	ALSOK常駐警備		73	2	杉 本 大 虎	旭 化 成
	73	2	白 井 岳	〃		73	2	立 川 新	〃
	73	2	櫻 井 健 太	ALSOK群馬		73	4	松 倉 勇 人	東 レ
	90	3	村 山 望	A L S O K		73	3	中 原 諒 人	〃
	90	2	菅 原 孝 希	〃		73	3	大 西 勇 気	〃
	90	3	阿 部 武 蔵	〃		90	2	佐 藤 将 和	帝 人
	90	4	箱 田 駿	ALSOK群馬		90	3	山 本 悠 司	旭 化 成
	90	初	中 野 幸 樹	セントラル警備保障		90	3	正 木 聖 悟	〃
	90	3	北 村 拓 己	〃		90	3	笹 谷 健	〃
	無差別	3	宮 原 峻 汰	A L S O K		90	3	内 藤 竜 生	東 レ
	無差別	2	矢 作 那 智	ALSOK常駐警備		無差別	3	出 本 宜 弘	三菱ケミカル
	無差別	3	佐 野 慶 征	ALSOK群馬		無差別	4	尾 原 琢 仁	旭 化 成
	無差別	3	高 木 政 明	セントラル警備保障		無差別	4	石 内 裕 貴	〃
	無差別	3	吉 田 功 二	〃		無差別	3	川 田 修 平	〃
						無差別	3	後 藤 龍 真	〃
						無差別	3	新 井 滉 耀	東 レ



Sana Yoshida



Mikoto Tsunemi



Ryoko Takeda



Rin Eguchi



Tsukasa Yoshida



Chen-ling Lien



Koyuki Tsuruoka



Moe Kinebuchi

Go forward!



Ayano Yuki



Miku Tashiro



Yoko Ono



Riho Saiganji



Ruika Sato



Mao Izumi

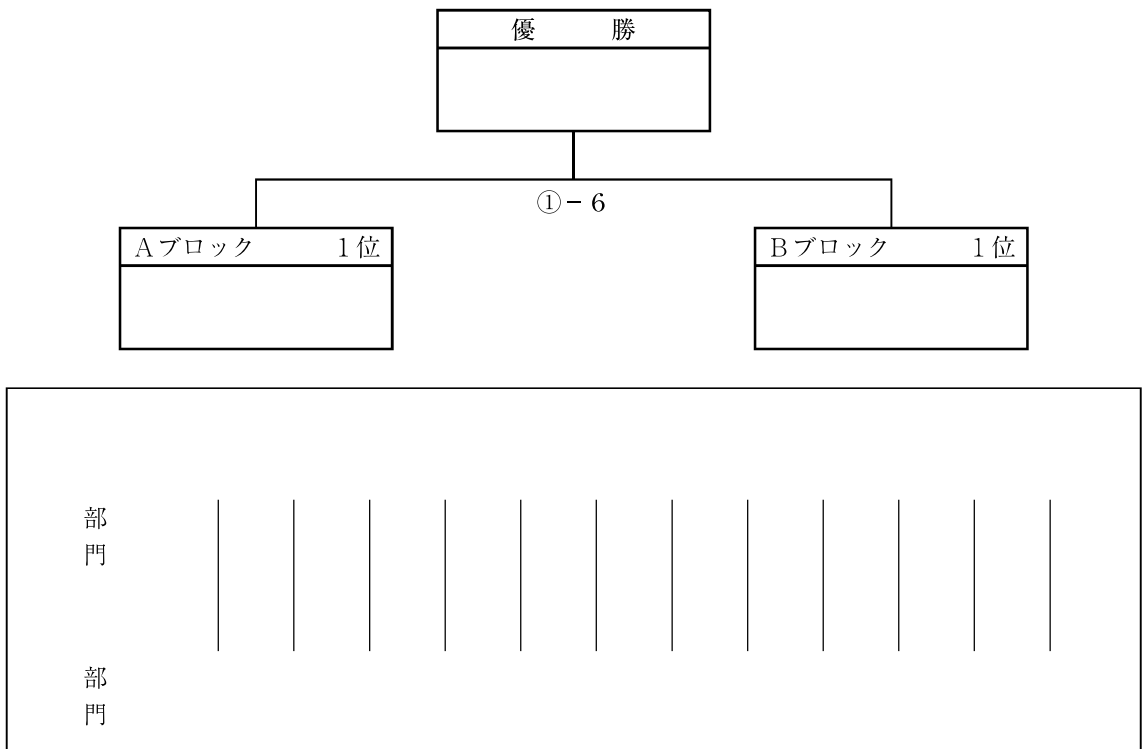


Akemi Hashimoto



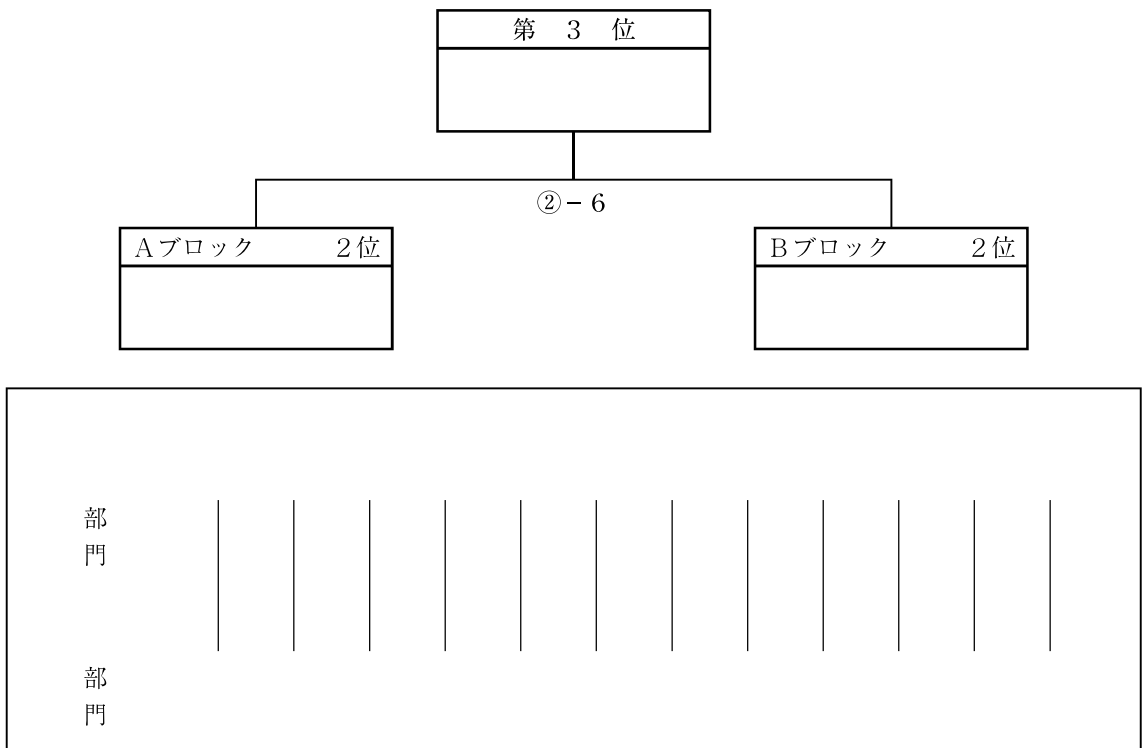
Wakaba Tomita

決勝戦



決勝・三位決定戦

第3位決定戦





医療法人 仁寿会

〒569-0802

大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-3377 / FAX 072-684-2333



社会福祉法人 春樹会

〒569-1131 大阪府高槻市郡家本町 13 番 18 号

TEL 072-681-2020 / FAX 072-681-5151

地域の医療

福祉の明日を見つめる



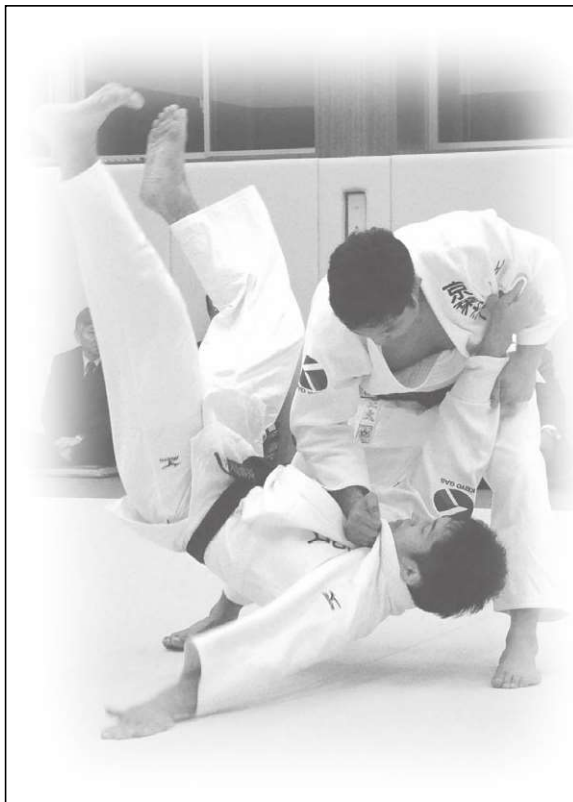
日本エースサポート株式会社

〒569-0802 大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-2217 / FAX 072-684-2266

過 去 の 成 績

年	回	開 催 地	参加数	優 勝 団 体 名	
昭和28年	1	講 道 館	6	織 維 部 門	
29	2	〃	6	織 維 部 門	
30	3	〃	11	1 部	2 部
				鉄鋼部門	鉄鋼部門
31	4	〃	11	織維部門	織維部門
32	5	〃	11	石炭部門	織維部門
33	6	〃	10	織維部門	織維部門
34	7	〃	8	鉄鋼部門	織維部門
35	8	〃	10	織維部門	織維部門
36	9	〃	10	鉄鋼部門	織維部門
37	10	〃	9	織維部門	織維部門
38	11	〃	10	織 維 部 門	
39	12	愛 知 県 体 育 会 館	8	織 維 部 門	
40	13	講 道 館	6	鉄 鋼 部 門	
41	14	〃	8	機 械 部 門	
42	15	〃	8	織 維 部 門	
43	16	蒲 郡 市 民 体 育 館	10	機 械 部 門	
44	17	大 阪 市 立 修 道 館	9	機 械 部 門	
45	18	講 道 館	12	織 維 部 門	
46	19	〃	11	鉄 鋼 部 門	
47	20	〃	11	織 維 部 門	
48	21	〃	11	織 維 部 門	
49	22	〃	11	織 維 部 門	
50	23	〃	10	織 維 部 門	
51	24	〃	11	織 維 部 門	
52	25	〃	12	織 維 部 門	
53	26	〃	12	織 維 部 門	
54	27	〃	12	鉄 鋼 部 門	
55	28	〃	12	鉄 鋼 部 門	
56	29	新日鉄・名古屋体育館	13	鉄 鋼 部 門	
57	30	神 奈 川 県 立 武 道 場	13	織 維 部 門	
58	31	〃	13	織 維 部 門	
59	32	講 道 館	13	鉄 鋼 部 門	
60	33	〃	14	鉄 鋼 部 門	
61	34	〃	14	織 維 部 門	
62	35	〃	15	1 部	2 部
				織維部門	機械部門



燃えるには、エネルギーが必要だ。

あきらめず挑み続ければ、

なにかが変わる。

その汗を忘れるな。

その孤独を噛みしめろ。

挑み、勝つために。

つぎの「うれしい!」へ。

keiYO GAS

あらゆる印刷物を より良い“パートナーシップ”で

お客様のニーズに合わせてカタチにします。

お客様の制作意図をより深く理解し、ご満足いただけるデザインを創造します。

きめ細かな対応で高品質印刷物の短期納品をお約束します。



印刷物制作の予算・部数・納期など企画の段階からご相談ください。

写真撮影・デザインから印刷・納品までトータルにサポートします。

思い出メーカー
ダイコロ株式会社

<https://www.daicolo.co.jp>

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-850-0771(代)・大阪営業部 ☎072-819-5288・営業2課 ☎072-867-3436
東京支社 〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー2階 ☎03-3619-6117 / 札幌支店 ☎011-743-7748
仙台支店 ☎022-792-6321 / 名古屋支店 ☎052-483-7510 / 広島支店 ☎082-249-6911 / 福岡支店 ☎092-413-3888



年	回	開 催 地	参加数	優 勝 団 体 名		
昭和63年	36	講 道 館	15	1 部	2 部	
				繊維部門	医療接骨部門	
平成元年	37	〃	15	繊維部門	印刷出版部門	
2	38	〃	15	繊維部門	情報流通部門	
3	39	〃	15	繊維部門	印刷出版部門	
4	40	〃	15	繊維部門	電機部門	
5	41	〃	15	繊維部門	水産食品部門	
6	42	〃	15	繊維部門	通信警備部門	
7	43	〃	15	繊維部門	建設部門	
8	44	〃	15	繊維部門	運輸部門	
9	45	〃	15	繊維部門	印刷出版部門	
10	46	〃	16	繊維部門	医療接骨部門	
11	47	〃	14	繊維部門	官公庁部門	
12	48	〃	12	医療接骨部門	運輸部門	
13	49	〃	12	通信警備部門	官公庁部門	
14	50	〃	12	通信警備部門	医療接骨部門	
15	51	〃	12	繊維部門	鉄鋼部門	
16	52	〃	12	繊維部門	官公庁部門	
17	53	〃	10	繊維部門	建設・電機部門	
2ブロック・リーグ戦へ移行				優 勝	準 優 勝	第 3 位
18	54	講 道 館	10	繊維部門	警備部門	
19	55	〃	10	繊維部門	警備部門	医療接骨部門
20	56	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷部門
21	57	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	警備部門
22	58	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷部門
23	59	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	警備部門
24	60	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷・サービス部門
25	61	〃	10	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門
26	62	〃	10	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	鉄鋼部門
27	63	〃	10	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	運輸部門
28	64	〃	9	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	鉄鋼部門
29	65	〃	8	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	運輸部門
30	66	〃	8	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	運輸部門
令和元年	67	〃	8	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門	繊維部門
2	68	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止				
3	69	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止				
4	70	講 道 館	7			

NIPPON EXPRESSホールディングス誕生。

2022年1月4日、
日本通運グループは、NXグループとして
ホールディングス体制に移行しました。

日本通運グループは、グループの旗を「NX」に統一。
レガシーのすべてを受け継ぎ、グローバル市場での新たな飛躍へ向けてスタートしました。
ロジスティクスを進化させる創造性と実行力で企業・産業・社会の発展を支えていく、
真のグローバルビジネスパートナーへ。グループ全員がひとつに結集し、
国内・海外のお客様に、より高度で高品質なサービスを提供していきます。
NXグループの挑戦に、ご期待ください。



NX NIPPON EXPRESS

信じる未来へ

Believe in the future

世界のカタチが変わっていく。
予測のつかない時代が始まっている。
それでも、私たちは立ちどまらない。
ともに進もう。信じる未来へ向かって。

陸上
野添 佑利
写真: アフロスポーツ

トライアスロン
小田倉 真
写真: アフロスポーツ

サッカー
菅澤 優衣香

ラグビー
小出 深冬
写真: IRIKASA KIMURA

柔道
高山 莉加
写真: アフロスポーツ

卓球
龍崎 東寅
写真: アフロスポーツ

ブラインドマラソン
道下 美里

MS&AD 三井住友海上

過 去 の 成 績（女子の部）

年	開 催 地	優 勝 チ ー ム
平成 6 年	講 道 館	東 軍
7	〃	西 軍
8	〃	西 軍
9	〃	西 軍
10	〃	東 軍
11	中 止	——
12	講 道 館	西 軍
13	〃	西 軍
14	中 止	——
15	講 道 館	東 軍

平成 16 年以降中止



有限会社 伊志嶺 商会

■トロフィー・メダル・カップ・社章 ■優勝旗・校旗 ■銅像事業部
■ミズノスポーツ用品・九櫻柔道衣・ミツボシ柔道衣・柔道畳
■Tシャツ・資金造成「織り姫タオル」

代表取締役 伊志嶺 朝之助
Ishimine Tomonosuke

■本店 沖縄県那覇市首里末吉町4-2-9
〒903-0801 TEL: 098-885-5537(代) FAX: 098-885-5538
E-mail: info@ishimine.com <http://www.ishimine.com>

柔道界から 暴力・パワハラ・セクハラ をなくそう!



(公益財団法人) 全日本柔道連盟 コンプライアンス委員会

これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問いに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的に、「自分自身にも起こりうること」として考えることができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

柔道界における

暴力

パワハラ

セクハラ

最近の主な実例

分類

内 容

① 身体への攻撃

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイッタしても絞め続ける行為も含む)

- Q 1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？
 Q 2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？
 Q 3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

- 事例1** 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔をプラスチック製バットで殴り、ケガを負わせた。
事例2 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気に入らないと、出場した2名に対して顔を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。
事例3 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



Answer 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為に必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

② 精神的な攻撃

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

- Q 1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをする」と指導者に叱られるという緊張感が必要なのではないですか？
 Q 2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

- 事例1** ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気に入らないと、「死ぬ」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返し浴びせた(暴力・体罰を伴う)
事例2 ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。
事例3 ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めても「お前にはしない」と言い放った。



Answer 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考えで、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉がけや矯正を目的とした言葉がけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることにつながります。指導者と選手に上下はなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

- Q 1 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なのではないですか？
- Q 2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なのではないですか？
- 事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。
- 事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかった為、選手は孤立した。



Answer 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

- Q 1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですね？
- Q 2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですね？
- 事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過激な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかととても不安だが、怖くて言いだせない。
- 事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えられない生徒に対していらだちを隠せず、「ろくに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。



Answer ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特長等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

- Q 1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですね？
- Q 2 ちょっとしたことでもケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですね？
- 事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないうと、「もう何もなくていい」「道場の隅で正座でもしてろ」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。
- 事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追いつめ出したきり、その後何のフォローもしなかった。



Answer 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。

私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

Q 1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知っておく必要があるのではないですか？

Q 2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね？

事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言うので後輩たちは皆まいてる。

事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。



Answer 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報や相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合もあります。「立場を利用して、無意識にプライバシーを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

Q 1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよ？

Q 2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよ？

Q 3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよ？

事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。

事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。

事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。

事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びているのを狙って写真を撮ってくる。



Answer セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のことのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

生徒間の暴力・指導者・関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認**－ 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 バワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観**－ 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力**－ ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル**－ 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔を殴る等の暴力を加えた。



Answer 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常を持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ること心掛けましょう。

ご相談窓口

全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談窓口」へ進んでください。

都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関することは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- ☐ **対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- ☐ **受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「投稿フォーム」に記入してご送付ください。
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- ☐ **メール送付先**：rinri@judo.or.jp



全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- ☐ **対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
- ☐ **受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談窓口」から内部通報制度(コンプライアンスホットライン)を選択し、「受付表」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807号
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：akahori@atarashibashi.com
- ☐ **郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5階
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com

「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあつたことを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとつても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思つてはいけません

3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践! グッドコーチング
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～
PHP 研究所

柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」(善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「自他共栄」(自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作りだすことにも大きく貢献できる要素を持っています。



安全と品質に こだわり45年

常にこの原点を忘れずに
人材育成の責任を果たします。



- 私たち羽田タートルサービスは、空港関連ハンドリングを広く網羅しており、さらに包括的な作業請負、物流、輸送、倉庫管理、人材派遣など、多様なサービスを提供する企業です。
- 日本人の空を支える一員として安全、品質、定時制を確実に継続する努力を日々行なっています。
- アウトソーシングを取り入れる企業へ単なる人材の供給・外注ではなく、パートナーとしてスタッフ業務から管理業務まで総合的なサービスを提供します。

羽田タートルサービス株式会社

<https://www.haneda-turtle.co.jp/>

■ 本社 ☎ 03-6423-9311

〒144-0043 東京都大田区羽田5丁目3番1号 本社スカイプラザオフィス12階

■ 支店・営業所・事業所

東京支店 / 仙台支店 / 福島営業所 / 江東営業所 / 埼玉支店 / 千葉支店 / 柏営業所 / 埼玉営業所 / 立川営業所 / 湘南厚木支店 / 町田営業所 / 横浜支店
橋本営業所 / 名古屋支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 羽田空港事業所 / 成田空港事業所 / 福岡空港事業所 / 茨城空港事業所

気候変動が人類や自然界に影響を及ぼし、具体的な対策が求められるなか、世界でCO₂を排出しない水素に注目が集まっています。

水素は分子が非常に小さく金属組織に入り込んで脆くする課題がありました。

そこで、日本製鉄は、水素への耐性を極限まで高めた高圧水素用ステンレス鋼を開発。設備の長寿命化、安全性の向上を実現します。

水素に強い鉄の技術で、クリーンな未来へ。

水素社会のインフラ構築を支えています。

水素に強い鉄で

クリーンな未来へつなぎませんか。